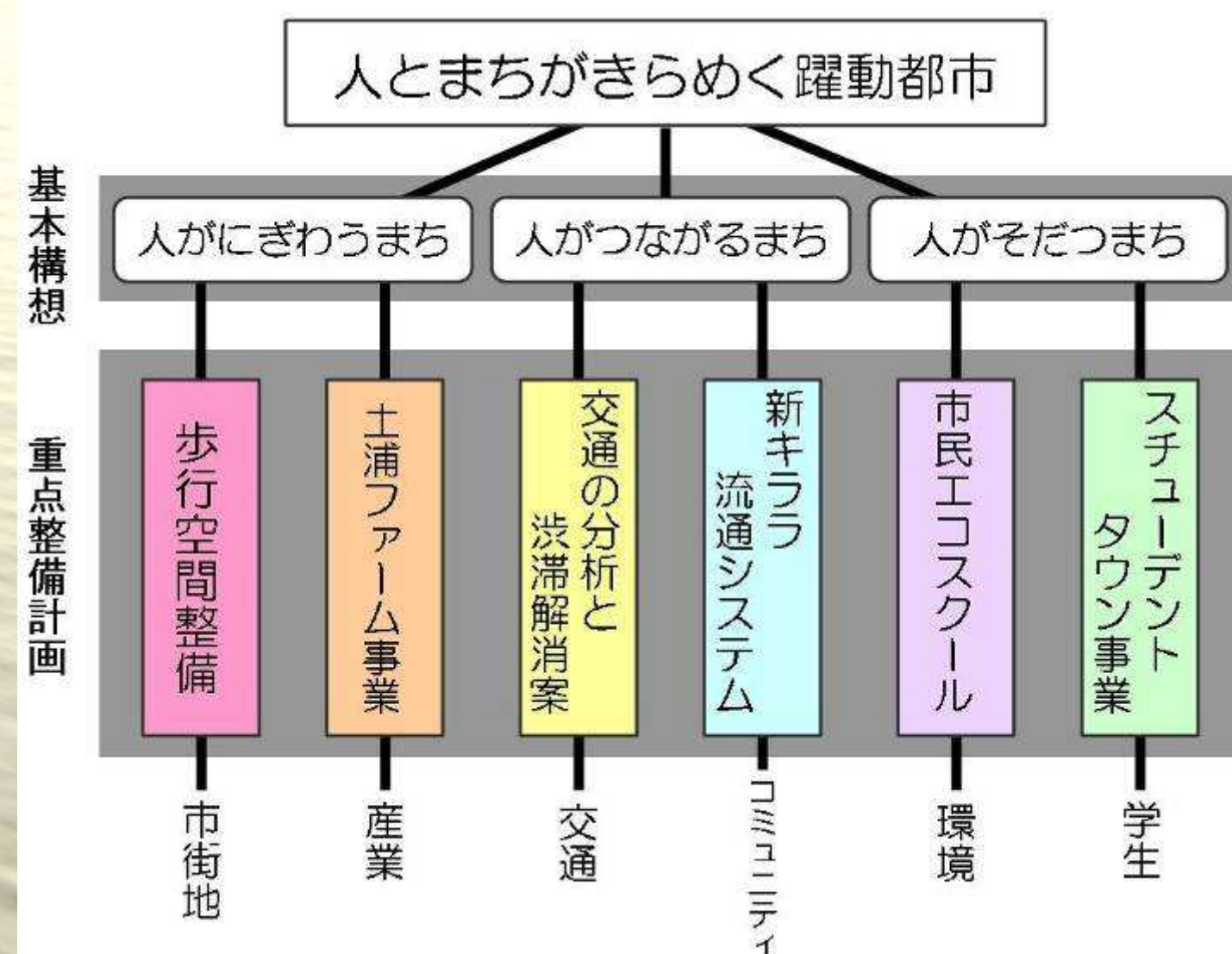


瀬尾 誠 風間 善光 慶田 恭一 富田美香 水谷 亮介 TA 森口 壮一郎

7班では、都市の活力維持と再生から、より高次元の都市へ変革することが土浦市に必要なことであるとして、都市の活力の源泉である「人」をキーワードに、将来の土浦の姿について提言を行う。本マスタープランでは都市フレームを「人とまちがきらめく躍動都市 土浦」と定め、人とまち双方が輝きを放ち、歴史と文化、自然が織りなす土浦というフィールドの中で、それぞれが未来へ躍動することを目標とする基本構想として「人がにぎわうまち」「人がつながるまち」「人がそだつまち」の3つを掲げる。



人を集めることで、まちににぎわいを与える考えである。そのなかでも「市街地の魅力の向上」「土浦の産業活用」を重点整備計画として、これを推進していく。

土浦ファーム事業

少子高齢化の中で都市としての輝きを保つために、魅力ある都市空間の再生が重要となる。人が歩いていて楽しいまち、人が行き来したくなるような市街地空間を創るために「地域特性を活かした水辺空間の創出」「歴史を感じるストリート」「バリアフリーで安全なまち」をテーマとした歩行者空間の整備を提案する。

「クラインガルテン」「オーナー制度」を設け、遊休農地を活用。土浦の魅力を最大限活用した農業体験の場を設けることで、多方面からの訪問者を呼び込み、人がにぎわうまちになることを目指す。

農業が盛んな新治地区に設立。現地農家の人々から技術支援をしてもらい農業を通じて自然や人とのふれあいを深めることを可能にする。

1年を通じて豊富な果物や土浦の市の花である桜の木のオーナー制度を実施。収穫物を受け取ることができ、自分の持つ桜の木の下で花見もできる。

土浦市における人と人とのつながり、地域のネットワークをより良くすることを目指す考えである。交通ネットワークの改善や全国でも珍しいシステムを持つキララの拡大をはかりこれを実現させる。

交通の分析と 渋滞解消案

新キララ
流通システム

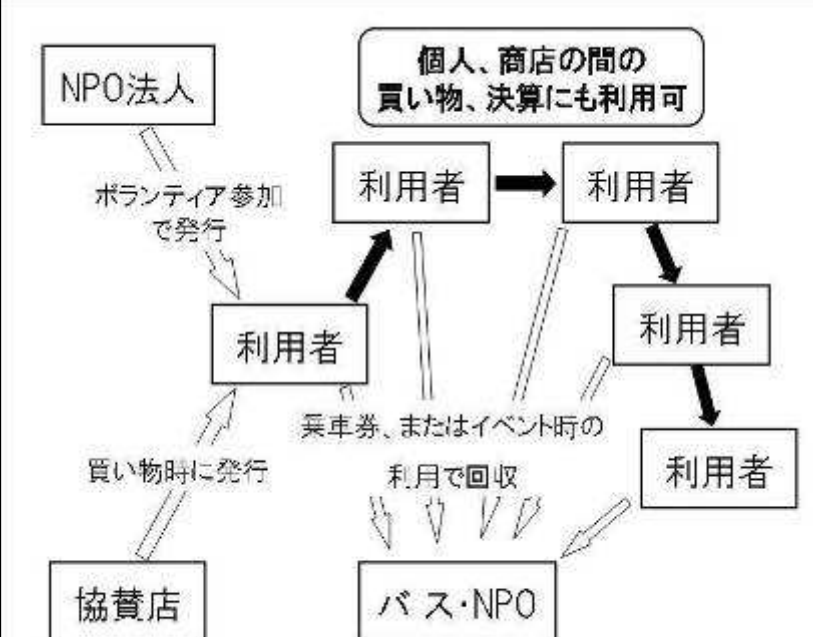
シミュレーションによると、土浦駅西口の交通渋滞の主な原因は近隣の住民による自動車利用であるという結果が出た。渋滞解消のために、費用のかかる拡幅工事やバイパス建設ではなく、既存の道路ネットワークを生かすことのできるモビリティマネジメントを行う。啓発資料や自動車利用の意識調査により、地域住民の意識を自動車利用の生活から公共交通利用への変容を促す。

A blue and white bus with a cartoon character and Japanese text on its side, parked on a street. The bus has a blue lower section with a white cartoon character and Japanese text. The upper section is white with blue trim. The bus is parked on a paved street with a building and trees in the background.

流通路拡大のため、市街地でのボランティアを促進、その対価として「キララ」を配る。例えば土浦まちなか元気市での店舗設営などである。また、バス以外にも協賛店での買い物や商工会議所への会費支払いなどにも利用可能にする。

そして紙幣に名前を書き込む欄を設ける。流通の際、お互いの名前を記入することにより人や商店のつながりを見える形にし、また地域通貨への参加を意識付けることができる。

システム図



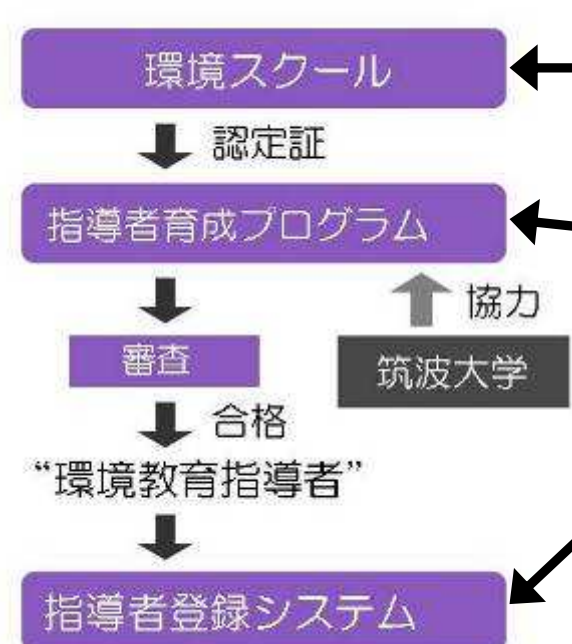
将来を担う人材をそだてることで、まちに活力を与える考えである。「環境問題」「学生の教育」を重点整備計画として掲げ、これを推進していく。

環境エクスクル

スチューデント

地理条件を活かし、土浦市民を主体・対象とした環境教育のシステムを提案する。意識の改善により市民の手で郷土資源の向上を図り、環境のスペシャリストの育成とそれを通じての地域の活性化を実現する。

システム図



環境教育を講義と体験で学び、意識の改善、自身で行動する力をつける。

筑波大学との協力し、地域をリードする環境教育の指導者を育成する。

指導者を登録し、環境スクールの講師
や学校への派遣を依頼。充実した活躍
の場を作る。

The diagram illustrates the project selection process. It starts with a vertical flow: **参加登録** (Registration) → **興味あるプロジェクト選択** (Project Selection) → **活動** (Activity). The selection process involves **学生** (Students) from three schools: **A高校** (A High School), **B専門学校** (B Vocational School), and **C大学** (C University). These students are shown selecting from three projects: **キララビジネスP** (KiraraBiznesP), **ちちうらインターンP** (Chichuura InternP), and **まちなかメディアP** (Machinaka MediaP). Lines indicate that students from all three schools are eligible to select any of the three projects.

土浦を舞台に、学生がプロジェクトを促進して“自己成長”や普段とは違うつちうら体験してもらい、将来輝く人づくり、まちづくりに貢献する。「経営体験」「就業体験」「まちづくり」をキーワードに3つのプロジェクトを用意し、学生には興味ある分野を選択してもらう。プロジェクトごとに定期的にミーティングを開き、プロジェクトコーディネータのもと、学生主体でプロジェクトを推進する。

以上のにぎわうまち・つながるまち・そだつまちのコンセプト、および重点政策群を土浦市のマスタープランとして提案する。これを実施することで、マスタープランが描く20年後、そしてその後の将来も、住民が主体となって都市問題や社会問題を解決していく力強いまち、“躍動都市・土浦”を目指す。